

よる普通交付税の増加額は、今年  
の算定基準によれば、約3億円とな  
っており、これが平成27年度から5年  
の経過措置期間を経て減額されるこ  
とから、この減額にも耐えうる行政  
の規模とするために、今後も不断の  
行財政改革を行っていかねければ  
ならない。

### ◎介護施設、妊娠・出産後、いじめ 行動の実態、改善策について

#### 問 介護施設での待機者数について。

答 愛媛県下の特別養護老人ホーム等  
の介護保険施設の協力を得て、平成  
21年7月末に実施した介護保険施設  
入所申込者に係る調査においては、  
本町の住民の特別養護老人ホームへ  
の入所申込者は、113人、老人保  
健施設への入所申込者は、22人とい  
う結果であった。また、鬼北町にあ  
る特別養護老人ホームの平成21年7  
月1日現在の入所申込状況は、二重  
に申し込みされている方も含め、ひ  
ろみ奈良の里が87人、勝山荘が61人  
の入所申込者となっている。

#### 問 妊娠・出産後の就職の実態と改善 策について。

答 妊娠、出産を機に退職する女性の  
割合等について、具体的な数値等は  
把握していない。

#### 問 いじめ行動の現状と改善策につ いて。

答 保育所においては、日々、遊びや  
生活を通じて他人を思いやる心や態

度等を身につけるよう指導をしてお  
り、現在のところ、いじめ行動につ  
いては報告を受けていない。

小中学校においては、毎月各学校  
に対して、いじめに関する調査を行っ  
ているが、本年度10月末現在までは、  
いじめとして認知した件数はない。

### ◎きじ肉の販売促進、 改善策について

#### 問 松山空港での販売実績について。

答 販売開始の8月は3万9千円、9  
月は6万1千円、10月は7万3千円、  
11月は4万7千円。店コーナー表示  
等については、空港ビルと協議を行  
いながら対応しているところである。

#### 問 販売増を目指す組織化について。

答 熟成きじ肉を鬼北町の特産品にし  
ようとの思いは、かなり町内でも理  
解が広まり、各方面からお歳暮商品  
への紹介等協力が増えてきている。  
組織化については、いろいろな角  
度で検討して対応していきたいと考  
えている。

#### 問 成功のための工夫、改善について。

答 今後は、松山空港でのイベントの  
実施により空港利用者及び空港周辺  
住民の方々への認知向上、また現在  
進めている広告宣伝の拡充、さらに  
来年度から使用可能となる光ファイ  
バー活用による販路拡大と商品開発  
の継続等を行っていききたいと考  
えている。

### ◎小学生の日常読書活動について

#### 問 児童・生徒の読書現状について。

答 各学校それぞれ工夫を凝らして読  
書活動に取り組んでいる。

中でも朝読書の時間の設定や、図  
書委員会を中心となって各学級での  
現状に合わせて目標冊数を決めるの  
読書の呼びかけや、多読賞の発表、  
昼休みには新刊などお薦めの本を紹  
介するなど啓発活動にも取り組んで  
いる。

また、それぞれの教科の中では、  
調べ学習が取り入れられているが、  
インターネットだけに頼らず図鑑や  
辞典を利用した調べ学習などの取り  
組み、国語科の時間での読書単元で  
は、読み聞かせを行ったり、物語文  
を学習した後、作者のいろいろな作  
品に触れる活動を行うなど、各学級  
とも積極的に読書を取り入れた教育  
活動に取り組んでいるのが現状であ  
る。

本町教育委員会においても、年度  
当初の校長会・図書主任会等に、  
「すべての学習の基礎となる読書指  
導」に努めるよう指示している。

いづれにしても、「すべての子ども  
がいつでもどこでも楽しく読書がで  
きる環境づくり」を目指して、家庭・  
地域・学校など社会全体で、子ども  
の発達段階に応じた読書活動を推進  
しなければならないと考えている。

### ◎乳児家庭訪問の実践について

#### 問 現在の該当者数、成果について。

答 平成19年度から、「こんにちは赤

ちゃん事業」として開始しており、  
平成19年度は該当者（母親数）63人  
に対して訪問者が57人、実施率90  
.5パーセント、20年度は該当者53人  
に対して訪問者が51人、実施率96  
.2パーセントである。21年度は現在  
のところ35人の該当者がある。

当町の場合は、新生児期と生後2  
ヶ月の2回、地区の事情や家庭の養  
育環境を把握している地区担当の保  
健師が主となり家庭訪問をしている。  
母親の不安や悩みを耳を傾け、気軽  
に相談にのり、子育てに対する情報  
提供を行い、支援の必要な家庭に  
対して適切なサービスを行うよう努  
めている。

#### 問 人材確保について。

答 地区担当保健師のほか、在宅の助  
産師にも協力をお願いし、出産直後  
の精神的にも肉体的にも不安定な時  
期に訪問して、育児不安を取り除く  
よう努力している。

#### 問 課題、困難な点について。

答 最近の育児不安問題に対して、親  
子教室の開催や育児サークルの支援  
等に力をいれている。しかし、こう  
いう場所に参加されない方に対して、  
児童虐待防止という観点から、育児  
の孤立化をいかに防止するかが今後  
の課題である。少子高齢化の進んだ  
当町にとって、地域全体で子供を守  
り育てる環境づくりやネットワーク  
づくりにも努めていきたいと考えて  
いる。